

KiKiの広場

2020年 3月10日

cafe NO.113
KiKi



訳あって出すタイミングを逃してしまった「KiKiの広場 NO.113」です。「カフェ KiKi」は休店、「ヒストリア 宇部」の次期指定管理者もなかなか決まらない中、途方に暮れている時期でもありました。それでも館長は「KiKiの広場」は出すように言ってくれていたのです。その準備をしていましたが、個人的な理由で叶わず、そのまま4月になってしまいました。この度、新年度も「タグボート」が引き続き運営を継続することが決まり、カフェも再開することになりました。これを機に、遅ればせながら出ささせていただくことにしました。

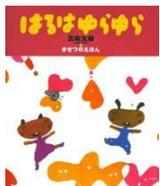
なかなか筆が進まずぐずぐずしている間に、世の中は大変なことになってしまいました。新型コロナウイルスの集団感染を防ぐ為に、学校は休校、いろいろなイベントは中止、そして、「ヒストリア宇部」も5日（木）から26日（木）まで臨時休館することになりました。イベント開催に向けて会場の下見や備品の確認の為に、何度もヒストリアに足を運ばれたり、それぞれのところでいろいろな準備をして来られたみなさまのことを考えると、イベント中止の無念さは察するに余りあります。

また、今年の「3・11」の催し物も相次いで中止になりました。法要の様子や芸能の奉納などはインターネットで配信される予定だとか。「場所は離れていても、心は一つに」とありました。せめて、14時46分には、一緒に黙祷を捧げたいと思います。

これ以上心を痛めることがないように、どうぞどうぞ早く収まることを祈るばかりです。

今月のお気に入り&今月の本棚・「待ち遠しい春を感じる絵本」

～「はるはゆるゆる」「14ひきのぴくにつく」「なのはなみつた」「ほとんぼんはなんのおと」「うさぎのおうち」などなど～



「はるはゆるゆる」は、五味太郎ワールド満載です！みんなが待ち遠しい春をどう表現するのか。なるほど「ゆるゆる」かあ……。柔らかくて心地よい響き、「春ってゆるゆるなんだなあ」と納得。絵も見ているだけでほんわかしてきます。世界中で愛されている「14ひきシリーズ」の「14ひきのぴくにつく」は、シリーズの中でも特に好きな絵本です。春の香りがいっぱいのこの絵本



空の美しさとたんぼぼの綿毛の繊細さに感動します。手元に置いておきたい一冊です。春の訪れを真っ先に感じさせてくれる花の1つ「菜の花」。その菜の花にはたくさんの種類があるということを教えて



くれるのが科学絵本の「なのはなみつた」です。「あのね、ちょっとすてきなないしょのおはなし、しましょうか。」「やおやさんでかってきたやさいに もしもちいさなつぼみがついていたら、それはたべずにとっておいてつちにうえてみてごらん。」「はっぱをたべるやさいをなっばっていうでしょう。だからなのはなの「な」なのかな？」語りかけるような文章も好きです。



ほとんぼん

実は今、病院のベッドの上で、「KiKの広場」を書いています。大腿骨骨折で2～3週間の入院を余儀なくされてしまいました。世の中や「ヒストリア宇部」も「カフェ KiKi」も大変な時期に、本当になんてこったい！です。

ほぼ毎日来てくださっていたカフェの常連のMさんは、休店になっても週に1回以上、ヒストリアに寄ってくださっては、「どんな？みんな元気？まだ決まらん？」と声をかけてくださってました。「KiKiがなくなったら、行くところがないよ。」と言われていたMさん。どんな思いで毎日過ごしておられるかと思うと、胸がいっぱいになります。

どういう結果になろうと、年度末や新年度の忙しくて大変な時期に、今の自分に関わることができません。悔やんでも悔やみきれませんが、これもこれからの糧の1つになると信じて、少しでも早く復帰できるよう頑張ります。